

(3) 調布市



調布市

■ 市の概要(人・企業にとって魅力となる都市ブランド)

調布市は、新宿副都心から約15km 圏内に位置する人口約23 万人の都市です。

市域の北側は三鷹市、小金井市、東側は世田谷区、南側は狛江市及び多摩川をはさみ稲城市・神奈川県川崎市、西側は府中市にそれぞれ接しています。

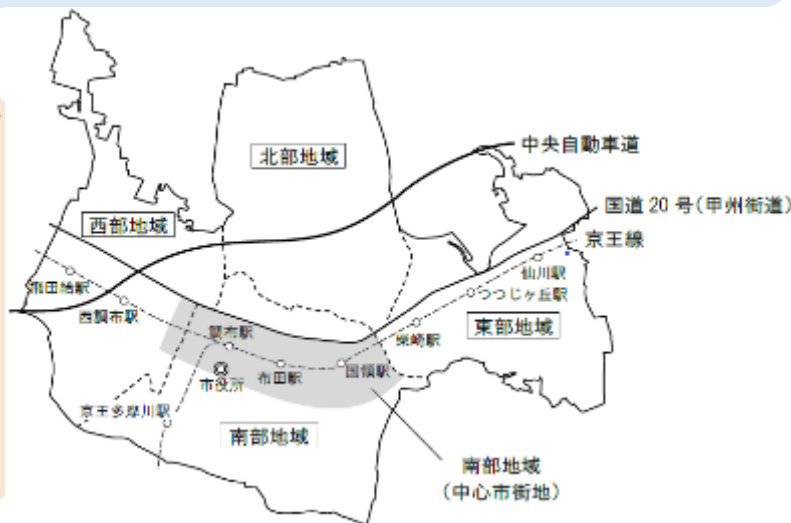
市域は東西約7km、南北約5.7km、面積は21.53k m²となっています。また、市中央部を東西に京王線が走り、これに沿うような形で市街地が連なっています。

■ 交通

市中央部に位置する調布駅は、新宿駅から特急を利用した場合、約15 分で到着でき、通勤、通学の利便性が高いです。また、1日の乗降客数は京王線において新宿駅に次ぐ2番目の1日当たり11 万人強であり、本市の中心駅となっています。

一方、道路交通では、中央自動車道及び国道20 号(甲州街道)が市中央部を東西に横断し、その交差部に調布インターチェンジがあります。

市内西部には調布飛行場があり、本州と伊豆諸島を結ぶ離島航空路線の拠点となっています。以上のとおり、本市は交通便利性に恵まれた立地特性を有しています。



■ 観光

映画のまち調布、深大寺、水木マンガの生まれた街 調布、花火など、調布市の魅力あふれる観光情報を提供しています。詳細は以下のリンクを御覧ください。

- ・調布市の観光
- ・調布市の歴史・文化財
- ・映画のまち
- ・水木マンガの生まれた街

■ 映画のまち

市内には、昭和8(1933)年に日本映画株式会社によって多摩川撮影所(現在の角川大映撮影所)が設立されて以来、数多く映画・映像関連の事業所が集積し、「映画のまち調布」として知られています。

昭和30 年代、日本映画の黄金期を支えた本市は「東洋のハリウッド」と呼ばれ、多くの映画スターを輩出しました。

平成29(2017)年には多摩地域最大級のシネマコンプレックスが開業し、さらなる盛り上がりを見せています。



■ 水木マンガの生まれた街

調布市名誉市民・水木しげるさんは、50年以上調布市にお住まいになり、「ゲゲゲの鬼太郎」や「河童の三平」、「テレビくん」など、数々の名作は調布で生まれました。

市は、各所にゲゲゲの鬼太郎のモニュメントやマンホールを設置するなど、「水木マンガの生まれた街 調布」として、街の魅力を発信する取組を推進しており、2018年には、一般社団法人アニメツーリズム協会が発表した「2018年版 日本のアニメ聖地88」の一つに選出され、盛り上がりを見せています。



● 企業へのサポート

■調布市では、創業や経営、事業資金に関する相談、テーマ別の相談会を開催しているほか、創業塾をはじめ、創業や経営に役立つセミナーも開催しています。また、創業支援施設スモールオフィスの貸し出しを行っています。詳細は、市ホームページ (<https://www.city.chofu.tokyo.jp>) から御確認ください。問合せ先 産業振興センター 042-443-1213

・開業・創業支援



・融資・助成



・経営相談・企業診断



■その他の特色ある地域資源(豊かなビジネス環境)

東部地域の特色

市東部地域には世界的に著名な指揮者小澤征爾氏をはじめ多くの音楽家を輩出している「桐朋学園」があり学内やまちなかで様々なコンサートが行われています。

また、世界的に有名な建築家・安藤忠雄氏が設計した「調布市せんがわ劇場」「東京アートミュージアム」等が並んでいる、通称「安藤ストリート」があります。

さらに、明治末期に雑誌「白樺」を創刊した白樺派の文豪「武者小路実篤」が過ごした邸宅跡が現存し、現在は「実篤公園」「武者小路実篤記念館」となっています。このように、東部地域は芸術文化の薫るまちとなっています。



武者小路実篤記念館



実篤公園



東京アートミュージアム



せんがわ劇場

西部地域の特色

市西部地域には、サッカーJリーグの「FC東京」のホームスタジアムであり、収容規模5万人を誇る「味の素スタジアム」があり、サッカーの試合のほか、様々なアーティストによるコンサート等の各種イベントも実施され、大勢の来訪者で賑わっています。また、隣接する「武蔵の森総合スポーツプラザ」は東京2020大会の競技会場ともなるスポーツ施設です。

このように西部地域は文化・スポーツの拠点であり、特に2019年のラグビーワールドカップでは大きな賑わいを見せました。また、新選組局長の近藤勇の生家跡があります。



味の素スタジアム



近藤勇の生家跡

南部地域の特色

市南部には、東京都と神奈川県の間であり悠久の流れをたたえる「多摩川」が流れています。

「多摩川」は、水と緑の癒しスポットとして、週末には多くの市民の憩いの場となっているほか、例年夏には市内外から約35万人の来客で賑わう花火大会が開催され、夏の風物詩となっています。



多摩川緑地公園と花火大会



北部地域の特色

市北部には武蔵野の面影を残す深大寺自然広場等があり、近郊にありながら癒しの自然散策スポットとなっています。

奈良時代に建立された関東屈指の古刹「深大寺」では四季折々のイベントを開催しています。門前には「深大寺そば」の専門店が立ち並び、多くの来訪者で賑わっています。「深大寺」に隣接して、都内最大の広さを誇る「都立神代植物公園」があり、四季を通じて様々な緑や花を展示するほか、バラフェスタやジャズコンサート等のイベントも実施しています。周辺には「深大寺城跡」「深大寺温泉ゆかり」「深大寺水車館」「都立水生植物園」もあるほか、平成29年には深大寺の本尊である「銅造釈迦如来倚像」が国宝に指定され、毎年100万人程の来訪者が訪れる代表的な観光地となっています。



古刹「深大寺」



国宝「銅造釈迦如来倚像」